

静勝寺報

第30新年号
平成30年
1月1日発行

発行所
静勝寺
編集発行人
高崎忠道

年頭にあたり、皆様ご家族のご健勝とご多幸を念じ、本年が穏やかな年であらんことを祈ります。

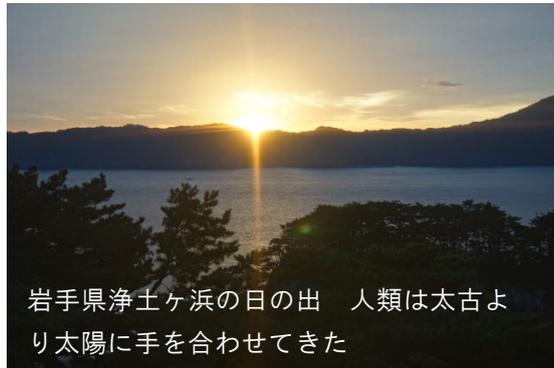
正月は、旧年が無事に過ごせ新年を迎えることを祝う行事です。もともと、夏と冬の年に2度、祖先の霊を迎え祀る御魂祭り（みたままつり）でした。夏は仏教の盂蘭盆会の影響を受けて先祖供養としての役割が強くなり、冬は稲作文化の影響をうけて新年に年神様（農耕神）をお迎えして豊作を祈る神事の役割が強くなりました。また、数え年を用いていた時代は、誰もが誕生日でありました。

よって、年末には大掃除をして清め、鏡餅や正月飾りを飾り、晴れ着（着物に限らずよい服装）を着、お節料理やご馳走を作り、家族そろって、神様ご先祖様をお迎えし、無事新年を迎えられたことに感謝し、本年の息災、豊作、商売繁盛を願うのがお正月の意義なのです。

ところが最近では、ふだん着で、正月飾りも簡素化し、賀状のやり取りもメールやラインに代わり、お節料理も作らなくなり、親戚はもとより家族でさえ顔をそろえなくなり、お店も開いていて、日常と変わらない風景になりつつあり、お正月らしさが薄れているようです。同様に昨今は、お葬儀はじめ様々な行事も簡素化しているようです。確かに、煩わしいこともあるかもしれませんが、その行事の裏にある意義を忘れてはいけません。

人類は、太古より目に見えない神を信じ、畏敬の念を抱き、祖先を大切にし、神仏先祖に感謝してききました。だからこそ、誰も見ていなくても、神仏が見ていると信じ、悪いことをしないようにし、良いことをしようという心がけました。そのことが他の動物と違いであり、人類発展の要因の一つだそうです。

もちろん、神仏を信じていれば、平穏な世が訪れるわけではないことを歴史が証明しています。宗教の違いが原因で絶えず紛争が起これり戦争となり、現代のテロにつながっています。日本では恋愛成就や開運、ご利益を願って神仏に手を合わせる人は多くいますが、殺人、自死、いじめ問題やあの手この手の詐欺事件など絶えません。世界的に益々弱者にしわ寄せがくる世の中になつてきています。なぜ信心があっても、良くならないか、それはその信心を自分の利益を願うのみにしか用いてないからではないでしょうか。



岩手県浄土ヶ浜の日の出 人類は太古より太陽に手を合わせてきた

今世界は、不寛容の時代と言われ、自国、自分ファーストが叫ばれ、さらにそれが高じて自国、自分オンリーに陥っています。そのためにもわたりを傷つけ、自らの考えを押し付け、異なるものを認めず排除することをよしとする風潮が蔓延するようになりました。もちろん自国を守り、自分を大事にすることは大切ですが、そのうえで他者を理解し認めることも大切です。認めないことも、人を傷つける暴力

スマホはじめ機器の発達が目覚ましく便利になりましたが、かえって機器に振り回され、縛られているようです。そして、皆が自分というものに強く執着するあまり、自分のみでいっばいで余裕がなくなり、他者への思いやりの心を閉ざしています。信心があってもそれを自分や自国の利益にししか求めず、他者への思いやりや感謝の念を抱かずにいるのです。忙しさのあまり、自分を見失っているのです。「忙」とは「心」を「亡くす」と書きますがこの「心」とは「思いやりの心」にほかなりません。この心が「慈悲の心」であり、この心を持つことがお釈迦様の教えなのです。

世の中で成功を収める人は、高学歴とかではなく思いやりがある人だそうです。この心を持つ人が人望もあり、困難な時でも回りが助けてくれて、成功につながっています。

目に見えないものを見、神仏を信じ、祖先を敬う、他者を思いやる心は、子供のころに養われます。子供のころは超自然なことを感じる力があり、また両親、祖父母が神仏に手を合わせる姿を見、慈悲の心に接することで自然と備わってきます。大人になっても、ゆったりとした時間を持ち、自然に接したり、坐禅をすることでその力、慈悲心もたらされます。

日頃、なかなかゆったりした時間をとれない方も多いと思いますが、せめてお正月お盆だけでも（日をずらしてでも、年に一、二度は）皆が集まり、ゆったり過ごし、神仏、祖先に感謝、崇敬の念を表し、そして語り合ひましょう。語り合うことで他者への理解を深め、認め合うことになり、思いやりの心、慈悲心が持て、幸せへとつながります。

参考文献 芹沢聡海「埋蔵文化を考える」



墓地西側崖柵修繕工事



道灌まつり ケーブルテレビの撮影に来ました 7/26



③



②



①

東日本大震災被災地の旅 10/31~11/1



④

- ① 三陸鉄道に乗る
- ② 田老堤防
学ぶ防災説明を聞く
- ③ たろう観光ホテル
3階まで津波が押し寄せ、
1, 2階は流される
- ④ 北山崎展望台
- ⑤ 浄土ヶ浜遊覧船
ウミネコに餌をやる



⑥



⑦



⑤



⑧

- ⑥ 正法寺東北一の茅葺の本堂
- ⑦ 正法寺開山堂
- ⑧,⑨ 中尊寺



⑨



11/8 琉拳会研修 坐禅、写経、掃除、ミカン狩り 今年も子供たちが頑張りました



11/9、10 道元禅師祖蹟巡拝



- ① 比叡山横川 得度(出家)地
- ② 建仁寺開山堂
中央に栄西禅師像、その前の柵の中
石棺内に遺骨が納められている
- ③ 永平寺中雀門 11/21
- ④ 京都深草欣浄寺の伏見大仏
道元禅師が初めて開いたお寺興聖寺
のあった所
- ⑤ 京都宇治興聖寺
深草欣浄寺の地より移転した



- ⑥ 示寂(死亡)の地
京都西洞院通高辻
- ⑦ 荼毘の地
京都円山公園脇
- ⑧ 天寧寺山門
中央に比叡山を望む





12/6 北区仏教会 日蓮上人祖蹟巡拝

- ① 清澄寺日蓮上人出家得度修行の地
- ② 小湊誕生寺
- ③ 太田堂 誕生寺内 稲付城主であった太田康資（太田道灌ひ孫）の墓がある

行事予定

○元旦祈禱

一月一日(月)

午前六時 本堂

○納経会

一月十三日(土)

午後三時

写経会に引き

続き本堂にて納

経会を行います。

写経は、当日書

いたものでなく

ても納経できま

す。お写経を納

経堂(観音堂)に

納めます。

また、納経は

随時受け付けて

いますので、お納めください。(納経のお布施は千円以上)

○亀ヶ池辨才天節分会 二月三日(土) 午後三時 豆まきをします。ご参加ください。

○涅槃会 二月十五日(木) お釈迦様がお亡くなりになった(涅槃)日

○春季彼岸会 三月十七日～二十三日 彼岸会法要 三月二十一日(水、春分の日) 午前十一時 法話と歌と法要

○東日本大震災チャリティコンサート 「祈りの宴」3.11に思いをよせて」 三月十一日(日) 午後一時、午後四時の二回 静勝寺本堂 入場料1000円、子供500円 (被災地に寄付します)

○北区内仏教会主催花まつり七日(土) 午後一時半～ 赤羽駅西口広場にて甘茶あめを配ります

○二胡コンサート 六月十七日(日) 午後一時半

○可睡齋参拝旅行 五月初旬予定

○坐禅会 毎週日曜 朝6時より

○写経会 毎月第一土曜 午後3時～5時 毎月第二土曜 午後3～5時

○横田年昭氏コンサート「祈りそして神宴」 四月一日(日) 午後二時開演 静勝寺本堂 入場料3000円

○亀ヶ池辨才天大祭 四月一日(日) 午後三時予定

○降誕会(花まつり、お釈迦様の誕生日) 静勝寺四月八日(日) 午前九時～午後五時

当日は本堂に花御堂を飾り、甘茶を差し上げます。

○北区内仏教会主催花まつり七日(土) 午後一時半～ 赤羽駅西口広場にて甘茶あめを配ります

○二胡コンサート 六月十七日(日) 午後一時半

○可睡齋参拝旅行 五月初旬予定

○坐禅会 毎週日曜 朝6時より

○写経会 毎月第一土曜 午後3時～5時 毎月第二土曜 午後3～5時

○朝の会 毎週日曜朝6時45分～8時 読経と法話の会

○歌の会 毎月第四土曜 午後二時半 みんなで楽しく歌いましょう 左上写真 左下写真 8月の歌の会ゲスト高安氏の独唱



○ピアノ教室 ピアノを楽しみましょう

○平成三十年の年回表

一	周忌	平成二十九年
三	回忌	平成二十八年
七	回忌	平成二十四年
十二	回忌	平成十八年
十七	回忌	平成十四年
二十	回忌	平成八年
二十七	回忌	平成四年
三十三	回忌	昭和六十一年
五十	回忌	昭和四十四年
百	回忌	大正八年

申込みは前月の1日より電話受け付けます。

編集後記 やっと、昨年11月13日に86号線道路建設認可取り消しを東京地方裁判所に提訴しました。皆様のご協力のおかげです。今後ともご支援をお願いします。そんなこんなでストレスがたまりました。